

# 復習シート 第六学年 国語



組
番号
名前

【質問の意図をとらえたり、計画的に話し合うために司会の役割について考える問題】

1 松山さんの学級では、自分たちの言葉の使い方を見直すために、立場を決めて話し合うことにしました。次は、そのときの【話し合の様子の一部】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

## 【話し合の様子の一部】

**司会** 自分たちの言葉の使い方を見直すために、今日は「生活の中で使っている言葉はみだれているか」について三人の代表の人に考えを発表してもらいます。そして、その意見をもとにして、自分はこれから言葉をどう使っていくとよいかについて全員で話し合い、考えていきましょう。それでは田中さんから、発表をお願いします。

**田中** ぼくは、言葉はみだれていると思います。調べてみると、本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉があるということが分かったからです。文化庁の「国語に関する世論調査」では、「役不足」という言葉について、「本人の力量に対して役目が軽すぎる」という本来の意味を選んだ人は四十一・六パーセントでした。半数以上の人は、本来の意味とは異なる使われ方をしているようです。

**北川** 私も、言葉はみだれていると思います。なぜなら、言葉を省略して話す人が多いためです。例えば、「今年もよろしくお願いします」を「ことよろ」ということがあります。省略すると相手や場に合っていない言葉になったり、意味が分からなくなったりすることがあると思います。

**小池** 私は、言葉はみだれていないと思います。例えば、「全然」は「全然ない」のように、あとに打ち消しの言葉がくるときに使うことが多いのですが、最近では、「全然いい」という使い方をする人もいます。また、辞書によると、あとにくるのが打消しの言葉に限らない時期もあったそうです。このように、時代によって言葉の使われ方は変わるから、今までとはちがう使われ方だとしても、言葉がみだれているとは思いません。

**司会** ありがとうございます。それぞれの発表に対して質問はありませんか。

★**木村** 小池さんに質問があります。時代によって使われ方が変わった言葉は、「全然」以外にどのようなものがありますか。

**小池** 例えば、「見れる」という言葉があると思います。私たちは「見ることが出来る」という意味で使っていますが、辞書には、本来は「見られる」というべきものと書かれています。

**司会** ここまで代表の人に考えを発表してもらいました。田中さんは、本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉があるから言葉は乱れているという考え、北川さんは、言葉が省略して使われているから言葉はみだれているという考えでした。小池さんは、言葉の使われ方は時代によって変わるものだから、言葉はみだれていないという考えでした。三人の意見について、みなさんはどう考えますか。

**金子** 田中さんが話したように、ぼくも本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉は確かに多いと思います。これからは、よく使っている言葉でも、疑問をもったときは意味を調べてみたいと思います。

**青木** 本来の意味とは異なる使い方をしていると田中さんは言っていました。そのような使い方をしても、自分の思いが相手に伝わることはあると思います。相手の理解を確かめながら言葉を使って行こうと思います。

**司会** 金子さんや青木さんは、これから言葉をどのように使っていきたいかについて話していました。みなさんも、そのことについて自分の考えも話してください。

一 【話し合いの様子の一部】の★木村さんは、何のために質問をしたと考えられますか。最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

レベル9

- 1 発表の中で自分が聞きのがしたことをもう一度聞くため。
- 2 相手の考えの中で最も伝えたいことをたずねるため。
- 3 相手の考えとその理由のつながりを明らかにするため。
- 4 具体的な例がほかにもあるかを確かめるため。

二 【話し合いの様子の一部】の司会は、部のように発言することによって、この話し合いの中でどのような役割を果たそうとしていると考えられますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

レベル9

- 1 話し合うことを明確にするために、三人の立場と理由を整理しようとしている。
- 2 立場を明確にして話し合うために、最もよい考えを選び出そうとしている。
- 3 活発な話し合いにするために、時間や約束を守るように注意しようとしている。
- 4 発言回数に気をつけながら、話し合いの計画的に進めようとしている。

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

# 復習シート 第六学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

【目的や意図に応じて、資料を活用しながら話し方を工夫したり、質問したりする問題】

1 丸山さんは、自然とくらしについて調べ、【写真①】と【写真②】を使って発表しまし

た。【発表原稿】げんこうを読んで、あとの問いに答えましょう。

【写真①】	雪国の家の写真
【写真②】	沖縄の家の写真

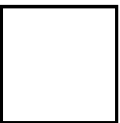
【発表原稿】

発表の仕方	話す内容
ア	ビルやマンションの屋根は、平らになっているものが多いです。
イ	また、屋根全体が三角形の形になっている家もあります。みなさんは、どんな形の屋根を見たことがありますか。
ウ	屋根には、いろいろな形があります。わたしは、各地の屋根の写真をたくさん集めて、日本地図に置いてみました。すると、屋根には、その地方の自然に合わせた特色があることが分かりました。調べたことの中から二種類の屋根について話します。
エ	この屋根の角度は、急になっています。雪の多い地方では、このような屋根の家が見られます。なぜ、このように角度が急になっているのだと思いますか。

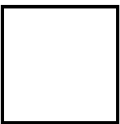
発表の仕方	話す内容
<p>しばらく時間をおく</p> <p style="text-align: center;">エ</p> <p style="text-align: center;">オ</p>	<p>それは、できるだけ、雪が屋根に積もらないようにするためです。雪は、たくさん積もると家をおしつぶすぐらいの重さになります。ですから、雪に備えるくふうの一つとして、屋根の角度を急にしています。さらに、積もった雪を熱でとかして流すなど、いろいろなくふうがあります。</p> <p>これは、角度がゆるやかな屋根です。どうしてこんなにゆるやかなのだと思いますか。</p> <p>このような屋根が見られる地方は、台風の進路にあたることが多く、強い風から家を守る必要があります。屋根の角度が急であると、風をまともに受けてしまいます。だから、屋根の角度をゆるやかにして、台風のひがいをできるだけ受けないようにしているのです。かわらは、跳ばないように固めています。</p> <p>このように、家の屋根には、雪や台風などによるひがいに備えて、いろいろとくふうして作られているものがあります。</p>

一 丸山さんは、発表をするときに、二枚の写真をそれぞれの場面で示せばよいか考えました。【発表原稿】の中で、【写真①を示す】・【写真②を示す】がはいるところを、アからオまでの中からそれぞれ一か所選んで、その記号を書きましょう。 レベル9

【写真①】



【写真②】



二 丸山さんの学級では、聞き手からの質問には、次の1から4までのような種類があるということを学習しました。そこで、大野さんは、あとの  のように質問しました。大野さんは、1から4までのうち、どの種類の質問をしていますか。最もふさわしいものを一つ選んで、その番号を書きましょう。 レベル9

【質問の種類】

- 1 話し手が調べたことの中で最も伝えたかった内容を引き出そうとする質問。
- 2 話し手が発表したことに対する自分の理解が正しいかを確かめようとする質問。
- 3 話し手が材料を集めたり整理したりしたときのくふうを聞き出そうとする質問。
- 4 話し手が調べたことと、自分が調べたこととを関係付けようとする質問。

【大野さんの質問】

写真を使っていたので、説明がよく分かりました。たくさん写真は、どのようにして集めたのですか。また、なぜ、その二枚を選んだのですか。